

京丹波町創生戦略 事業評価資料

(27 年度事業)

27 年度戦略事業評価シート

事業名	地域資源活用型企業（起業家）誘致事業	担当課	【商工観光】			
KPI	3年間で地域資源活用型起業家・ベンチャービジネスを5件以上発掘・育成。	H27	H28	H29	H30	H31
		-				

A：拡充	今後内容を拡充して実施する必要がある
B：継続	当面の間、現状のまま継続して実施
C：見直し	事務事業の効率化等により見直す必要がある
D：終了	目的が達成されたこと等により終了する場合

■事業を構成する細事業

事業名	細事業の概要（内容）	成果指標（目標数値）		決算額 （単位：千円）	評価	評価の判断理由及び改善事項 （妥当性・有効性、効率性に基づき記載）
		指標名	実績値			
外部機関の活用	（一財）電源地域振興センターの企業誘致支援サービス事業を活用し、全国1万社を対象とした工場立地アンケート、企業誘致フェア出展	活用数	1者	300	B	アンケート結果を元に、工場立地意向のある企業に対して引き続きフォローアップ。
企業誘致訪問活動	・金融機関等への情報提供協力要請 ・誘致ターゲット企業への訪問活動	訪問数	3社	336	B	今後は町有地や民間の土地・遊休施設等を活用した企業誘致マッチングなどを強化していく。

■改善提案（翌年度からの新規及び改善事業）

事業名	細事業の概要（内容）	成果指標（目標数値）			予算額 （単位：千円）	補足説明
		指標名	指標の算出根拠	目標値		

■外部委員会の評価（※事務局記載）

誘致事業に関しては、用地等の確保を行い、スピード感を持った対応が必要である。
--

27 年度戦略事業評価シート

事業名	起業・ベンチャービジネス育成事業	担当課	【商工観光】			
KPI	3年間で地域資源活用型起業家・ベンチャービジネスを5件以上発掘・育成。	H27	H28	H29	H30	H31

A：拡充	今後内容を拡充して実施する必要がある
B：継続	当面の間、現状のまま継続して実施
C：見直し	事務事業の効率化等により見直す必要がある
D：終了	目的が達成されたこと等により終了する場合

■事業を構成する細事業

事業名	細事業の概要（内容）	成果指標（目標数値）		決算額 （単位：千円）	評価	評価の判断理由及び改善事項 （妥当性・有効性、効率性にに基づき記載）
		指標名	実績値			
創業支援事業計画策定	産業競争力強化法に基づく創業支援事業計画を策定。	-	-	50	B	計画期間である平成30年3月末まで継続実施。
創業支援ネットワーク設立	町、商工会、金融機関の3者による創業支援ネットワークを設立。	-	-	50	B	ネットワークを通じて連携して創業支援を展開できている。
起業セミナー	町内の起業希望者や起業5年未満の事業者、町外の移住起業希望者等を対象に起業セミナーを開催。	受講者	16人	1,000	A	女性を対象とした女性起業セミナーなど、ターゲットを絞った事業展開も必要。
ふるさと起業出張相談会	都市部において起業出張相談会を実施。農村での起業を目指している人材の移住起業相談、生活情報提供を行う。	来場者	5人	150	A	平成27年度はトライアル的に実施。実施時期や実施場所、実施回数など検討が必要。

■改善提案（翌年度からの新規及び改善事業）

事業名	細事業の概要（内容）	成果指標（目標数値）			予算額 （単位：千円）	補足説明
		指標名	指標の算出根拠	目標値		
起業セミナー	女性を対象とした女性起業セミナー（主婦など遊休人材の活躍推進）	受講者	前年度並み	15	500	一般向けも実施。
移住起業ガイドブック制作	町内の移住起業事例の紹介や生活情報を盛り込んだガイドブックを作製し、都市部での起業出張相談等で活用。移住起業PRに活用。	発行部数	500	500	100	

■外部委員会の評価（※事務局記載）

企業と住民意向のマッチング対策を十分に行うこと。（商工会等関係機関との連携も含めて）
--

27 年度戦略事業評価シート

事業名	新産業創出事業	担当課	【商工観光】			
KPI	3年間で地域資源活用型新産業（新製品・新サービス）の創出を5件 新規雇用30人以上	H27	H28	H29	H30	H31

A：拡充	今後内容を拡充して実施する必要がある
B：継続	当面の間、現状のまま継続して実施
C：見直し	事務事業の効率化等により見直す必要がある
D：終了	目的が達成されたこと等により終了する場合

■事業を構成する細事業

事業名	細事業の概要（内容）	成果指標（目標数値）		決算額 （単位：千円）	評価	評価の判断理由及び改善事項 （妥当性・有効性、効率性に基づき記載）
		指標名	実績値			
産業ネットワーク設立	町内企業、行政、産業支援機関、金融機関等によるネットワークを設立。新産業創出、連携・交流、人材育成により産業活性化・雇用創出をめざす。	参画数	33件	263	A	27年度は設立準備及び設立。（企業22、連携機関11） 28年度は具体的事業を実施する。

■改善提案（翌年度からの新規及び改善事業）

事業名	細事業の概要（内容）	成果指標（目標数値）			予算額 （単位：千円）	補足説明
		指標名	指標の算出根拠	目標値		
新産業創出事業	・新事業創出研究会 ・工場見学会 ・ケーブルテレビでの企業紹介 など	創出件数	新事業創出件数 3年間で5件 H28(2) H29(3)	2		町産業ネットワークの具体的取り組み
産業人材育成事業	・高校生、大学生等を対象とした町内企業でのインターンシップ	参加者数		10		町産業ネットワークの具体的取り組み

■外部委員会の評価（※事務局記載）

企業と住民意向のマッチング対策を十分に行うこと。

27 年度戦略事業評価シート

事業名	福祉介護人材の確保対策事業	担当課	保健福祉課			
KPI	介護研修受講者増と併せて、福祉介護事業所における新規就労者の増加（20人）を目指し、離職者の減少を図る。	H27	H28	H29	H30	H31
		4人				

A：拡充	今後内容を拡充して実施する必要がある
B：継続	当面の間、現状のまま継続して実施
C：見直し	事務事業の効率化等により見直す必要がある
D：終了	目的が達成されたこと等により終了する場合

■事業を構成する細事業

事業名	細事業の概要（内容）	成果指標（目標数値）		決算額 （単位：千円）	評価	評価の判断理由及び改善事項 （妥当性・有効性、効率性に基づき記載）
		指標名	実績値			
京丹波町介護力向上事業	介護職員初任者研修（2級介護職員）を修得し、その資格を活かして町内の介護福祉施設等に就職した場合に、研修受講料の一部を助成する。	制度利用数	4人	80	C	個人の資格取得に対する助成は、各事業所が京都府へ一定の条件の下に介護人材育成に対する努力と実績を認証されることにより、事業所が助成をうけて行うものであり、市町が助成する場合の補助はないことになった。

■改善提案（翌年度からの新規及び改善事業）

事業名	細事業の概要（内容）	成果指標（目標数値）			予算額 （単位：千円）	補足説明
		指標名	指標の算出根拠	目標値		
介護相談員養成・派遣事業	京丹波町が、介護サービスの提供の場を訪ね、サービスを利用する者等の話を聞き、相談に応じる等の活動を行う者「介護相談員」の登録を行い、申し出のあったサービス事業所等に派遣することなどにより、利用者の疑問や不満、不安の解消を図るとともに、派遣を受けた事業所における介護サービスの質的な向上を図る。	介護人材の確保	地区1名×3地区	3人	762	事業所のヒアリングにより、介護人材の確保の前に、魅力ある開かれた職場づくりや、現場職員のやりがいを感じられるような機会を多く持つことが重要であるとわかった。信頼できる第3者の訪問を定期的に受けることで新しいいきづきが生まれることを期待する。

■外部委員会の評価（※事務局記載）

--

27 年度戦略事業評価シート

事業名	京丹波町産木材活用促進事業	担当課	【企画政策課・農林振興課】			
KPI	平成31年度までに、京丹波町産木材使用住宅3軒の建築。関連企業における雇用2名以上を確保。	H27	H28	H29	H30	H31
		1件				

A：拡充	今後内容を拡充して実施する必要がある
B：継続	当面の間、現状のまま継続して実施
C：見直し	事務事業の効率化等により見直す必要がある
D：終了	目的が達成されたこと等により終了する場合

■事業を構成する細事業

事業名	細事業の概要（内容）	成果指標（目標数値）		決算額 （単位：千円）	評価	評価の判断理由及び改善事項 （妥当性・有効性、効率性に基き記載）
		指標名	実績値			
京丹波町産木材利用促進事業補助金の制定	倉庫、バス待合所、ベンチ、看板等の設置に関し、木材の利用促進を図る。	補助件数	1	831	B	森林資源を活用する妥当性や有効性を身近に感じる施策の推進が、町内全体に広がることにより住民意識の醸成につながる。
木材搬出推進事業	京都トレーニングセンター（宿泊棟・トレーニングルーム）の建設に京丹波町産材を使用し、京丹波町のシンボリックな建物となることを目的として、搬出経費に対する助成を行なう。	木材使用材積	1,000m ³	3,000	A	奥地保安林等から搬出した場合、経費が高額で外国産等の安価な材に比べ劣位になっていたが、搬出経費に対する助成を行ったことにより、価格が同等あるいは優位となった。森林整備を行った森林所有者が負担する経費の軽減に繋がり、今後の展開として、次の森林整備を行うことができ、循環型林業を実施できる。
間伐材搬出奨励事業	ハタケシメジ生産施設に対して京丹波町産材の間伐材を搬入するものへの助成を行なう。	木材搬入材積	760m ³	2,660	B	施設建設当時、近隣8町の取組として地域資源の循環利用システムの構築をめざし整備され、間伐及び間伐材搬出の促進を行うとともに特用林産物の生産振興と林業事業者の育成・確保を図り、地域林業の活性化を目指して実施している。
高性能林業機械購入助成事業	グラッフル付きフォワーダの購入経費に対する助成	素材生産量	6,200m ³	2,470	B	積み込みから運搬までの作業体制が効率的・安定的に行うことができ、コスト削減及び搬出量の増加につながり、素材生産性の向上と生産量増大が可能となった。また安全に作業を実施することができることから、従事者の労働災害の軽減に繋がった。

■改善提案（翌年度からの新規及び改善事業）

事業名	細事業の概要（内容）	成果指標（目標数値）			予算額 （単位：千円）	補足説明
		指標名	指標の算出根拠	目標値		
間伐材運搬対策事業	木材搬出にかかる経費に対して補助金を交付することにより、搬出経費の負担軽減をはかり、林内に放置され腐らせていた原木を製材やチップ原料に活用させる。	木材搬入材積	4,000m ³ （H27間伐材搬出見込み）×2倍	8,000m ³	3,000	間伐材搬出量に対し、800円/立米以内の助成を行い、切り捨てられていた間伐材を搬出させ有効利用に繋げる。

■外部委員会の評価（※事務局記載）

公共施設等での活用等、搬出支援の効果を検証、明確化するべき。地域産材活用のため、家具職人等と連携したものづくり産業へのPRなどを通じて発展させるべき。

27 年度戦略事業評価シート

事業名	バイオテクノロジーを活用した地域産業活性化事業	担当課	【農林振興】			
KPI	平成31年度末までに地元産酒米使用数量を3,240kgにする。	H27	H28	H29	H30	H31
		2,460				

A：拡充	今後内容を拡充して実施する必要がある
B：継続	当面の間、現状のまま継続して実施
C：見直し	事務事業の効率化等により見直す必要がある
D：終了	目的が達成されたこと等により終了する場合

■事業を構成する細事業

事業名	細事業の概要（内容）	成果指標（目標数値）		決算額 （単位：千円）	評価	評価の判断理由及び改善事項 （妥当性・有効性、効率性に基づき記載）
		指標名	実績値			
バイオテクノロジーを活用した地域産業活性化事業	地元産米をしようした日本酒を企画製造することにより、地元産米の消費量を増加させるとともに、耕作放棄地の有効活用促進を図る。	地元産酒米使用量	2,460kg	1,500	B	地元産米（酒米）を使った、地元酒蔵による純米吟醸酒の開発によってオール地元のブランド力強化と、一定の農地利活用に効果を得た。今後、販路の開拓や需給バランスなど、更なる改善を図る必要がある。

■改善提案（翌年度からの新規及び改善事業）

事業名	細事業の概要（内容）	成果指標（目標数値）			予算額 （単位：千円）	補足説明
		指標名	指標の算出根拠	目標値		

■外部委員会の評価（※事務局記載）

引き続き効果検証を継続し、販路開拓と地域産業活性化につなげること。

27 年度戦略事業評価シート

事業名	ケーブルテレビ伝送路の光化統一事業	担当課	【企画政策】			
KPI	平成31年度までに京丹波町ケーブルテレビ伝送路のFTTH化を計画し、インターネット接続サービス利用数の100口増を目指す。	H27	H28	H29	H30	H31

A：拡充	今後内容を拡充して実施する必要がある
B：継続	当面の間、現状のまま継続して実施
C：見直し	事務事業の効率化等により見直す必要がある
D：終了	目的が達成されたこと等により終了する場合

■事業を構成する細事業

事業名	細事業の概要（内容）	成果指標（目標数値）		決算額 （単位：千円）	評価	評価の判断理由及び改善事項 （妥当性・有効性、効率性に基づき記載）
		指標名	実績値			
インターネット接続サービス	京丹波町ケーブルテレビ加入者を対象にしたインターネット接続サービス（月額利用料2,000円）の提供	サービス利用者増加件数	8件	-	B	平成27年度末で3,102件のインターネットサービス利用者があり、全体加入件数（6,544件）に対して、47%の加入率であり、継続して事業を進める。
自主放送番組の充実	デジタル11chでニュース番組や企画番組を制作し放送することで、地域コミュニティの活性化を狙う事業	-	-	-	B	地域や都市部の大学などと連携しながらコーナーや企画番組作りを通じて、地域の皆さんの顔が見える情報を継続して放送し地域活性化を狙う。

■改善提案（翌年度からの新規及び改善事業）

事業名	細事業の概要（内容）	成果指標（目標数値）			予算額 （単位：千円）	補足説明
		指標名	指標の算出根拠	目標値		

■外部委員会の評価（※事務局記載）

--

27 年度戦略事業評価シート

事業名	再生可能エネルギー推進事業	担当課	【企画政策】			
KPI	平成31年度末までに関連施設雇用者、林業関係者を10人確保する。	H27	H28	H29	H30	H31
		-				

A：拡充	今後内容を拡充して実施する必要がある
B：継続	当面の間、現状のまま継続して実施
C：見直し	事務事業の効率化等により見直す必要がある
D：終了	目的が達成されたこと等により終了する場合

■事業を構成する細事業

事業名	細事業の概要（内容）	成果指標（目標数値）		決算額 （単位：千円）	評価	評価の判断理由及び改善事項 （妥当性・有効性、効率性に基づき記載）
		指標名	実績値			
バイオマス産業都市構想策定事業	本町におけるバイオマスの賦存量や利用の現状等を調査・分析し構想を策定（28年度国へ申請予定）	新規雇用者	0人	4,194	B	町内で未利用の資源を活用するため、資源量調査や再生可能エネルギーの導入可能性を検証し、地域内での経済循環と新たな産業、雇用確保に向けた事業実施につなげる。
木質バイオマス熱利用施設の実施設計	モデル事業として、和知地区「長老苑・わちエンジェル」への熱供給システム構築に向けた実施設計	CO2削減量 197t-CO2/年	-	15,000	B	町内最大の地域資源である森林の活用によって、林業分野での産業創出や安定した雇用につなげ、随時町内に拡大していくため、モデル事業を実施するもの。

■改善提案（翌年度からの新規及び改善事業）

事業名	細事業の概要（内容）	成果指標（目標数値）			予算額 （単位：千円）	補足説明
		指標名	指標の算出根拠	目標値		

■外部委員会の評価（※事務局記載）

--

27 年度戦略事業評価シート

事業名	農林業の担い手対策	担当課	【農林振興】			
K P I	平成31年度末までに農林業の担い手を10人確保する。	H 27 3人	H 28	H 29	H 30	H 31

A：拡充	今後内容を拡充して実施する必要がある
B：継続	当面の間、現状のまま継続して実施
C：見直し	事務事業の効率化等により見直す必要がある
D：終了	目的が達成されたこと等により終了する場合

■事業を構成する細事業

事業名	細事業の概要（内容）	成果指標（目標数値）		決算額 （単位：千円）	評価	評価の判断理由及び改善事項 （妥当性・有効性、効率性に基づき記載）
		指標名	実績値			
新規就農育成事業	新しく就農を希望される方を対象に、技術習得から就農までを一貫して支援する実践的な研修の場として「実践農場」を整備する。	新規就農希望者	2人	827	B	新規に農業経営を開始するためには、農業技術の習得や所得の確保が必要であることから、実践的な研修を実施してもらう。
京丹波町農業後継者育成事業	新規就農者が農業施設や農業機械の整備を行う場合に、補助対象経費の10分の5以内を補助する。	新規就農者	0人	3,831	B	新規就農者が、就農計画や経営開始計画の所得目標を達成するために、農業施設や農業機械の整備を支援する必要がある。
就農研修資金償還金助成事業	新たに就農を目指す青年等が借り受けた就農研修資金の償還金に対して助成を行うことにより、就農の促進を図る。	新規就農者	0人	2,240	B	平成26年度に青年等就農計画制度が創設されたため、平成25年度までの認定就農者で就農支援資金の借入者が対象となっており、償還金の3分の2を助成する必要がある。
青年就農給付金事業	青年の新規就農者を大幅に増加させるため、収入の不安定な就農初期段階に青年就農給付金を交付し、就農後の定着を図る。	新規就農者	3人	12,750	B	新規就農者を増加させるため、交付要件を満たした者に対し、交付金を交付する。国費100%の事業である。

■改善提案（翌年度からの新規及び改善事業）

事業名	細事業の概要（内容）	成果指標（目標数値）			予算額 （単位：千円）	補足説明
		指標名	指標の算出根拠	目標値		

■外部委員会の評価（※事務局記載）

27 年度戦略事業評価シート

事業名	定住促進～住み続けるまちづくり事業	担当課	【企画政策課・和知支所】			
KPI	助成制度の活用による移住者数 5組	H27	H28	H29	H30	H31
		1				

A：拡充	今後内容を拡充して実施する必要がある
B：継続	当面の間、現状のまま継続して実施
C：見直し	事務事業の効率化等により見直す必要がある
D：終了	目的が達成されたこと等により終了する場合

■事業を構成する細事業

事業名	細事業の概要（内容）	成果指標（目標数値）		決算額 （単位：千円）	評価	評価の判断理由及び改善事項 （妥当性・有効性、効率性に基づき記載）
		指標名	実績値			
通勤・通学者支援制度	町外通勤者（約2,400人）への支援制度（助成金交付等）の制度設計	-	-	-	C	恒久的な個人給付については、地域創生交付金の対象外でもある。公共交通網の見直しと併せて、町外通勤・通学者に対する支援制度自体を検討する必要がある。
馬森花ノ木宅地分譲	本庄馬森・花ノ木における宅地分譲（馬森7区画、花ノ木2区画）	販売区画数	4区画	279	B	平成27年度より実施。鉄道・病院・金融機関・商店などが集中しているため、拠点地区の形成に寄与できる事業である。
馬森花ノ木宅地分譲	町有の住宅用地の購入者（40歳未満）に対し、購入助成補助金を交付	制度利用者	1人	1,000	B	定住促進事業として購入促進と負担軽減を図ることが出来る。今後町内に拡大することで制度の充実を図る。

■改善提案（翌年度からの新規及び改善事業）

事業名	細事業の概要（内容）	成果指標（目標数値）			予算額 （単位：千円）	補足説明
		指標名	指標の算出根拠	目標値		
定住支援制度の創設	京都府移住者金利負担軽減制度の町独自上乘せ助成を制度化	制度利用移住者数	1件/年×3年	3件	100	

■外部委員会の評価（※事務局記載）

--

27 年度戦略事業評価シート

事業名	住みつなぐ空き家活用事業（お試し居住による段階的移住の促進）	担当課	【企画政策課・農林振興課】			
KPI	平成31年度末までに関連施設整備を2戸、ゲストハウス利用者10人、移住者を5人確保する。	H27	H28	H29	H30	H31
		8人				

A：拡充	今後内容を拡充して実施する必要がある
B：継続	当面の間、現状のまま継続して実施
C：見直し	事務事業の効率化等により見直す必要がある
D：終了	目的が達成されたこと等により終了する場合

■事業を構成する細事業

事業名	細事業の概要（内容）	成果指標（目標数値）		決算額 （単位：千円）	評価	評価の判断理由及び改善事項 （妥当性・有効性、効率性にに基づき記載）
		指標名	実績値			
お試し住宅の整備	京都府事業を活用し、質美地区に1件整備。住民自治組織が中心となって管理運営していく	使用者	-	-	B	京都府事業の継続活用と空き家等の更なる活用により移住者支援を行う。併せて中期的支援（融資制度等）や長期的支援（定住支援住宅整備）により、一体的に取り組む。
京丹波町空き家情報バンク制度	空き家所有者から物件の情報提供を受け、利用希望者に情報を提供する。空き家を有効活用し、定住希望者の受入れを図る。	移住世帯数	4世帯 (8人)	-	B	HPでの情報掲載により、物件数・利用希望者数が増加した。今後利用希望者の詳細な相談に対応するため、不動産業者との連携が必要である。
「明日のむら人」移住促進事業	地域の団体や移住者、空き家所有者等を対象に、移住に係る事業費を補助。空き家の有効活用により、地域の活性化を図る。	改修物件数	1軒	1,900	B	移住者が空き家の改修を行う際の経費を補助。空き家所有者が家財道具等撤去する際の経費を補助。

■改善提案（翌年度からの新規及び改善事業）

事業名	細事業の概要（内容）	成果指標（目標数値）			予算額 （単位：千円）	補足説明
		指標名	指標の算出根拠	目標値		

■外部委員会の評価（※事務局記載）

専門部署を設置すべき。「安心・安全」という環境を発信（PR）するべき。併せて受入体制の情報発信も行うこと。地域における協力員の設置すべき。

27 年度戦略事業評価シート

事業名	京丹波町まるごと観光フードツーリズム推進プロジェクト事業	担当課	【商工観光課】				
KPI	平成31年度末までに、ご当地メニュー開発3品目、農業体験プログラム5商品、新規就農5件、農園利用者100区画利用。	H27	H28	H29	H30	H31	
		-					

A：拡充	今後内容を拡充して実施する必要がある
B：継続	当面の間、現状のまま継続して実施
C：見直し	事務事業の効率化等により見直す必要がある
D：終了	目的が達成されたこと等により終了する場合

■事業を構成する細事業

事業名	細事業の概要（内容）	成果指標（目標数値）		決算額 （単位：千円）	評価	評価の判断理由及び改善事項 （妥当性・有効性、効率性に基づき記載）
		指標名	実績値			
体験料理商品開発	京丹波産を食べるメニュー開発 体験メニュー開発(黒豆の藤寿司、枝豆、瑞穂そば) 酒かすを活用したレシピ開発	開発されたレシピ	-	-	B	豊富な京丹波町産品を活用することで、更なる商品開発につなげるため
6次産業化プロジェクト	新たな産品作りにチャレンジするプロジェクト	新たな産品	1商品	145	B	豊富な京丹波町産品を活用することで、更なる商品開発につなげるため
料理体験プログラム	京丹波町観光資源開発委託業務 「瑞穂そば打ち指導者育成講習会」の実施	体験プログラム	1講座	270	B	町特産品の生産数量拡大と新規就農、また特産品を用いた新たな雇用の創出につながるため
農業体験プログラム	体験メニュー構築のための農家民宿意見交換会の実施	体験プログラム	-	-	B	農作業体験を実施することにより、農業への理解と収穫の喜びを感じることで、新規就農につながるため
食の京丹波PR	イベント開催による食のPR（ご当地メニュー構築）	イベント開催	1回	4,455	B	イベントの開催により、「食の京丹波」という京丹波町最大の魅力を町内外に発信することで、交流人口の増加と地域経済の活性化を目指す
道の駅wifi整備事業	町内、4つの道の駅におけるFree Wifi環境の構築	設置箇所数	4箇所	1,067	D	機器の設置により当初の目的を達成したため
インターネット販売と配送システムの構築	町の魅力である「食」について、新たなインターネットによる販路確立	販売サイト	-	-	B	販路拡大と商品価値の向上、生産意欲の向上につながるツールであるため
瑞穂マスターズ農園コンサルティング	農園利用から新規就農へ結びつけるための企画立案 農園利用者の呼び込みと農園指導者の育成	農園利用者	10人	2,091	B	農産物の生産体制強化と新規就農者の確保につながるため

■改善提案（翌年度からの新規及び改善事業）

事業名	細事業の概要（内容）	成果指標（目標数値）			予算額 （単位：千円）	補足説明
		指標名	指標の算出根拠	目標値		

■外部委員会の評価（※事務局記載）

--

27年度戦略事業評価シート

事業名	京丹波町まるごと観光新たな魅力づくりプロジェクト事業	担当課	【商工観光課】			
KPI	平成31年度末までに交流人口を2,000千人に。観光ファンクラブに500人登録。	H27	H28	H29	H30	H31
		3,710				

A：拡充	今後内容を拡充して実施する必要がある
B：継続	当面の間、現状のまま継続して実施
C：見直し	事務事業の効率化等により見直す必要がある
D：終了	目的が達成されたこと等により終了する場合

■事業を構成する細事業

事業名	細事業の概要（内容）	成果指標（目標数値）		決算額 （単位：千円）	評価	評価の判断理由及び改善事項 （妥当性・有効性、効率性に基づき記載）
		指標名	実績値			
京丹波町熱気球フェスティバル	熱気球の搭乗体験と熱気球教室の開催。（延べ300人参加）	交流人口	3,710千人	800	B	新たな観光資源を定着させることで、賑わいづくりや集客力の向上につながるため
インバウンド商談事業	台湾 台北市・高雄市での京都丹波観光プロモーション活動（1回）			522	B	継続したPR活動により、多くの外国人観光客を呼び込み、入り込み客数の増加を狙う
観光プロモーションビデオ作成事業	町の観光資源を活用したPR用映像の作成（1本）			2,160	D	映像制作の完了により、当初の目的を達成したため
町営バスラッピング事業	町の観光資源と食のキャラクターを町営バス10台にラッピング			3,917	B	バスの運行によりPR効果が大きく、更にラッピングバスの台数を増車する必要があるため
観光看板設置事業	IC出口、国道沿いなどへの観光看板の設置（6基）			3,166	B	通過車両や施設へ立ち寄る車両に対するPR効果が高く、賑わいづくりや集客力の向上につながるため
観光ファンクラブ事業	京丹波検定に合格した方を対象にファンクラブ会員を募る。そのための組織づくり（1組織）	ファンクラブ会員数	0人	222	B	ファンクラブ会員に登録されることにより町の魅力発見につなげる。併せて情報発信のツールとして活用できる。

■改善提案（翌年度からの新規及び改善事業）

事業名	細事業の概要（内容）	成果指標（目標数値）			予算額 （単位：千円）	補足説明
		指標名	指標の算出根拠	目標値		
ロケ地誘致事業	鳥インフルエンザ発生跡地の活用として、官民連携で映画ロケ地として再整備を行い、交流人口の増加と雇用創出につなげる。	交流人口	-	4,000千人	40,981	地方創生加速化交付金充当

■外部委員会の評価（※事務局記載）

目標設定の上方修正必要。

27 年度戦略事業評価シート

事業名	地元学生定着支援事業（※公共施設利活用、空き家活用との連携）	担当課					【企画政策】				
K P I	平成31年度末までに町内雇用と定住で10人を目指す。	H 27	H 28	H 29	H 30	H 31					
		-									

A：拡充	今後内容を拡充して実施する必要がある
B：継続	当面の間、現状のまま継続して実施
C：見直し	事務事業の効率化等により見直す必要がある
D：終了	目的が達成されたこと等により終了する場合

■事業を構成する細事業

事業名	細事業の概要（内容）	成果指標（目標数値）		決算額 （単位：千円）	評価	評価の判断理由及び改善事項 （妥当性・有効性、効率性に基づき記載）
		指標名	実績値			
須知高校のあり方懇話会	地域創生の視点から今後のまちづくりにおける須知高校との連携事業等地域の拠点についてのあり方を検討	-	-	56	A	幼・小・中で育まれた人材育成を高校まで拡充することにより、将来の地域人材を確保する。加えて教育環境を整備することにより、まちづくりへの参画を促す。

■改善提案（翌年度からの新規及び改善事業）

事業名	細事業の概要（内容）	成果指標（目標数値）			予算額 （単位：千円）	補足説明
		指標名	指標の算出根拠	目標値		
須知高校振興対策支援の創設	須知高校の振興対策事業（資格取得、中高連携、学生募集など）に対する支援制度を創設する。	町内中学生の進学率	生徒数×1/2	50%	200	

■外部委員会の評価（※事務局記載）

--

27 年度戦略事業評価シート

事業名	子どもの健やかな発達事業	担当課	【 保健福祉課 】			
KPI	①専門家の関わりの中、安心して就学を迎えることができる児童の増加。②育児不安の少ない子育てができる保護者の増加。	H27	H28	H29	H30	H31
		24%				

A：拡充	今後内容を拡充して実施する必要がある
B：継続	当面の間、現状のまま継続して実施
C：見直し	事務事業の効率化等により見直す必要がある
D：終了	目的が達成されたこと等により終了する場合

■事業を構成する細事業

事業名	細事業の概要（内容）	成果指標（目標数値）		決算額 （単位：千円）	評価	評価の判断理由及び改善事項 （妥当性・有効性、効率性に基づき記載）
		指標名	実績値			
ベビー体操教室	早期から専門家（作業療法士）の介入のもとで、体を使った遊びを取り入れ、体を使うことの楽しみを知ってもらい、体を動かすことで子どもの発達を支援する。対象は生後10か月から1歳半までの児とその保護者。	参加者数	58人 （対象者の23.5%）	18	B	H27年からの新規事業であったが、対象者の2～3割の参加があり、遊びを通して子どもと関わろうとする親の姿がみられた。また、事業の中で子どもの発達に関する相談をされる様子もみられた。H28年度はさらに多くに参加していただけるように周知を図りたい。
					j	

■改善提案（翌年度からの新規及び改善事業）

事業名	細事業の概要（内容）	成果指標（目標数値）			予算額 （単位：千円）	補足説明
		指標名	指標の算出根拠	目標値		
マタニティヨガ教室	出産前からの子育て相談の場、母親同士の交流の場としてヨガ教室を開催する。	参加者	対象者×30%	20人	95	

■外部委員会の評価（※事務局記載）

--

27 年度戦略事業評価シート

事業名	出会いサポート事業	担当課	【子育て支援】			
KPI	参加者男女80人（のうち成婚し、将来的に町内に定住するカップル2組）	H27	H28	H29	H30	H31
		81人				

A：拡充	今後内容を拡充して実施する必要がある
B：継続	当面の間、現状のまま継続して実施
C：見直し	事務事業の効率化等により見直す必要がある
D：終了	目的が達成されたこと等により終了する場合

■事業を構成する細事業

事業名	細事業の概要（内容）	成果指標（目標数値）		決算額 （単位：千円）	評価	評価の判断理由及び改善事項 （妥当性・有効性、効率性に基づき記載）
		指標名	実績値			
出会いサポート事業	観光資源を生かし、京丹波町の地域の魅力を満喫してもらうとともに、若者のパートナーづくりの場の提供のため、出会いサポートツアーを実施	参加者 成婚組数	参加者 81名 成婚組数 0組	600	B	6月に「味夢の里」、11月には旧質美小学校を利用し、「ときめきツアー」を実施し、募集定員をオーバーする応募があり、参加者からのアンケート結果も概ね好評であった。今後においても出会いの場の提供、京丹波町の魅力を多くの方に知ってもらい、将来の定住につなげるため継続した実施が必要。

■改善提案（翌年度からの新規及び改善事業）

事業名	細事業の概要（内容）	成果指標（目標数値）			予算額 （単位：千円）	補足説明
		指標名	指標の算出根拠	目標値		

■外部委員会の評価（※事務局記載）

アンケート結果からも継続していくべき。成婚組数の把握についても努めるべき。

27 年度戦略事業評価シート

事業名	「笑がおで食育」推進事業	担当課	【保健福祉課・教育委員会】			
K P I	食育推進計画の数値目標の達成（8項目）	H 27 2項目	H 28	H 29	H 30	H 31

A：拡充	今後内容を拡充して実施する必要がある
B：継続	当面の間、現状のまま継続して実施
C：見直し	事務事業の効率化等により見直す必要がある
D：終了	目的が達成されたこと等により終了する場合

■事業を構成する細事業

事業名	細事業の概要（内容）	成果指標（目標数値）		決算額 （単位：千円）	評価	評価の判断理由及び改善事項 （妥当性・有効性、効率性にに基づき記載）
		指標名	実績値			
学童尿中塩分測定検査栄養授業	町内小学校4、5、6年生を対象に行った尿中塩分測定検査結果を基に、「減塩」の大切さ等についての栄養授業を学校教育と連携して実施	実施者数	330人 (5校)		D	学童期における検査は単年度事業として目標達成にて終了。今後中学校での実施を検討。
養護・栄養教諭との連絡会	町内の子どもたちの健康と栄養についての連携を図る。	開催数	1回		A	小学校において尿中塩分測定検査を実施し、学校給食における献立作成の参考とした。併せて、養護教諭、栄養教諭と連携し食育指導を行い、健康増進につなげる。
食育推進担当者会議	食育推進計画を策定した関係部署の担当者が情報交換し目標達成に向けての検討を行う。	開催数	未実施		B	担当者間での日程調整がつかず、今年度は未実施。今後は農林、保健、教育のみならず、町内の「食育」を推進する職種で構成し、情報交換の中で課題を共有し目標に向けて取り組む。
「笑がおで食育」推進事業	食育推進計画の推進	お弁当の日設定	-	-	B	引き続き、関係課と連携の上推進していく。お弁当の日の実施については、具体的な進展がなかったため、今後、実施についての検討を行う必要がある。
「笑がおで食育」推進事業	野菜の栽培の促進	実施校園数	6	-	B	幼稚園、小学校において、地域のボランティアの協力を受けて栽培活動を実施し、世代間交流と食育を進めることができた。

■改善提案（翌年度からの新規及び改善事業）

事業名	細事業の概要（内容）	成果指標（目標数値）			予算額 （単位：千円）	補足説明
		指標名	指標の算出根拠	目標値		
京丹波町食育推進連絡会	「食」を通じて子ども達の穏やかな成長を推進する関係職種が情報の交換をし課題や目標を共有し、活動に応じた取り組みを図る。	開催数	情報共有と目標に向けての活動	2回	-	子ども達の「食育」に携わる栄養士を中心とし、「食育」を推進する町内13団体で構成する。

■外部委員会の評価（※事務局記載）

--

27 年度戦略事業評価シート

事業名	ライフデザイン教育推進事業	担当課	【子育て支援】			
KPI	事業参加者：20人×5年=100人　うち定住10世帯を目指す	H27	H28	H29	H30	H31
		-				

A：拡充	今後内容を拡充して実施する必要がある
B：継続	当面の間、現状のまま継続して実施
C：見直し	事務事業の効率化等により見直す必要がある
D：終了	目的が達成されたこと等により終了する場合

■事業を構成する細事業

事業名	細事業の概要（内容）	成果指標（目標数値）		決算額 （単位：千円）	評価	評価の判断理由及び改善事項 （妥当性・有効性、効率性に基づき記載）
		指標名	実績値			
中学生等の職場体験・保育ボランティアの受入	町内各中学校2年生が行う職場体験実習、保育ボランティアの受入	参加者数	14人	—	B	中学生、高校生の職場体験の受入を行っており、入園児とのふれあいはできているが、母から話を聞くような機会はない。今後は、子育て支援センターの見学等を取り入れ、親子対象の事業に参加することで、乳児や子育て中の保護者との触れ合う機会を作る。

■改善提案（翌年度からの新規及び改善事業）

事業名	細事業の概要（内容）	成果指標（目標数値）			予算額 （単位：千円）	補足説明
		指標名	指標の算出根拠	目標値		

■外部委員会の評価（※事務局記載）

--

27 年度戦略事業評価シート

事業名	学校・地域連携による明日を拓く教育推進事業	担当課					【教育委員会】
KPI	学校支援地域本部事業の実施校を1校増やす。	H27	H28	H29	H30	H31	
		-					

A：拡充	今後内容を拡充して実施する必要がある
B：継続	当面の間、現状のまま継続して実施
C：見直し	事務事業の効率化等により見直す必要がある
D：終了	目的が達成されたこと等により終了する場合

■事業を構成する細事業

事業名	細事業の概要（内容）	成果指標（目標数値）		決算額 （単位：千円）	評価	評価の判断理由及び改善事項 （妥当性・有効性、効率性に基づき記載）
		指標名	実績値			
学校支援地域本部事業	学校支援コーディネーターを配置し、学校のニーズと地域の人的・物的資源をマッチングさせ、学校教育を推進する。	実施校数	-	842	B	平成28年度から実施学校数を1校増やすべく、対象校へのヒアリング及び説明、新年度予算要求を実施。地域の教育環境を向上させることで、教育のまちをPRする。

■改善提案（翌年度からの新規及び改善事業）

事業名	細事業の概要（内容）	成果指標（目標数値）			予算額 （単位：千円）	補足説明
		指標名	指標の算出根拠	目標値		

■外部委員会の評価（※事務局記載）

--

27 年度戦略事業評価シート

事業名	地域子育て支援センター事業	担当課	【子育て支援】			
KPI	子育てサークル0から1へ	H27	H28	H29	H30	H31

A：拡充	今後内容を拡充して実施する必要がある
B：継続	当面の間、現状のまま継続して実施
C：見直し	事務事業の効率化等により見直す必要がある
D：終了	目的が達成されたこと等により終了する場合

■事業を構成する細事業

事業名	細事業の概要（内容）	成果指標（目標数値）		決算額 （単位：千円）	評価	評価の判断理由及び改善事項 （妥当性・有効性、効率性に基づき記載）
		指標名	実績値			
子育て支援センター事業	未就園親子を対象とし、子育てに関する情報の提供、センタールームや園庭の開放等各種行事の実施	子育てサークル数	0	4,230	B	保育所入所の需要が年々高まっており、支援センター参加者が減少しているが、3センター合同事業を増やしたことにより、外部講師の招致や母子保健事業との合同事業等、本事業が子育て環境の向上につながっている。 なお、認定こども園への移行時に1ヶ所拠点化を実施する方向で検討を行った。
		子育て支援センター利用者数	3,460			

■改善提案（翌年度からの新規及び改善事業）

事業名	細事業の概要（内容）	成果指標（目標数値）			予算額 （単位：千円）	補足説明
		指標名	指標の算出根拠	目標値		

■外部委員会の評価（※事務局記載）

子育てサークルの設置時期について検討すること。

27 年度戦略事業評価シート

事業名	多子軽減負担（「子育て応援助成金」との相乗効果を想定）	担当課	【子育て支援】			
KPI	子育て支援センター（短時部）利用児童 <現行> 19人（内、半額助成4世帯）⇒30人（内、半額助成5件、無償化3件）	H27	H28	H29	H30	H31
		-				

A：拡充	今後内容を拡充して実施する必要がある
B：継続	当面の間、現状のまま継続して実施
C：見直し	事務事業の効率化等により見直す必要がある
D：終了	目的が達成されたこと等により終了する場合

■事業を構成する細事業

事業名	細事業の概要（内容）	成果指標（目標数値）		決算額 （単位：千円）	評価	評価の判断理由及び改善事項 （妥当性・有効性、効率性に基づき記載）
		指標名	実績値			
第3子無償事業	18歳未満の児童が3人以上いる世帯の第3子以降の児童の子育て支援センター事業（短時部）の利用料を保育料と同様無償化した。	利用児童数無償化件数	18人 2件	-	B	子育て家庭の経済的負担の軽減をはかることができた。今後においても、幼稚園、保育所利用者との公平性を維持するために継続した実施が必要である。
多子軽減事業	同一世帯から2人以上の児童が利用する場合、2人目を半額、3人目を無料とする。	利用児童数半額件数	18人 3件	-	B	子育て家庭の経済的負担の軽減をはかることができた。今後においても、幼稚園、保育所利用者との公平性を維持するために継続した実施が必要である。

■改善提案（翌年度からの新規及び改善事業）

事業名	細事業の概要（内容）	成果指標（目標数値）			予算額 （単位：千円）	補足説明
		指標名	指標の算出根拠	目標値		

■外部委員会の評価（※事務局記載）

--

27 年度戦略事業評価シート

事業名	子育て応援助成金（「多子軽減負担」との相乗効果を想定）	担当課 【子育て支援】				
K P I	助成金受給世帯数 150 世帯 / （年額9,000,000円）	H 27	H 28	H 29	H 30	H 31
		-				

A：拡充	今後内容を拡充して実施する必要がある
B：継続	当面の間、現状のまま継続して実施
C：見直し	事務事業の効率化等により見直す必要がある
D：終了	目的が達成されたこと等により終了する場合

■事業を構成する細事業

事業名	細事業の概要（内容）	成果指標（目標数値）		決算額 （単位：千円）	評価	評価の判断理由及び改善事項 （妥当性・有効性、効率性にに基づき記載）
		指標名	実績値			
第3子無償事業	18歳未満の児童が3人以上いる世帯の第3子以降の児童の子育て支援センター事業（短時部）の利用料の無償化	利用児童数無償化件数	18人 2件	-	B	当該事業を施行したことにより、幼稚園や保育所との公平性ができ、子育て支援センター（短時部）利用の促進につながる。
多子軽減事業	同一世帯から2人以上の児童が利用する場合、2人目を半額、3人目を無料とする。	利用児童数半減件数	18人 3件	-	B	当該事業を施行したことにより、幼稚園や保育所との公平性ができ、子育て支援センター（短時部）利用の促進につながる。

■改善提案（翌年度からの新規及び改善事業）

事業名	細事業の概要（内容）	成果指標（目標数値）			予算額 （単位：千円）	補足説明
		指標名	指標の算出根拠	目標値		

■外部委員会の評価（※事務局記載）

--

27 年度戦略事業評価シート

事業名	高校生等医療費助成事業	担当課	【住民】			
KPI	転入受給者：10人×5年=50人	H27	H28	H29	H30	H31
		4人				

A：拡充	今後内容を拡充して実施する必要がある
B：継続	当面の間、現状のまま継続して実施
C：見直し	事務事業の効率化等により見直す必要がある
D：終了	目的が達成されたこと等により終了する場合

■事業を構成する細事業

事業名	細事業の概要（内容）	成果指標（目標数値）		決算額 （単位：千円）	評価	評価の判断理由及び改善事項 （妥当性・有効性、効率性に基づき記載）
		指標名	実績値			
高校生等医療費助成事業	高校生等が医療機関を受診したときに支払った保険給付に係る医療費の一部を申請により助成する。	転入受給者	4人	1,327	B	今後も継続して広報活動を行い、償還払いにて医療費の助成を実施する。（助成登録者 206人）

■改善提案（翌年度からの新規及び改善事業）

事業名	細事業の概要（内容）	成果指標（目標数値）			予算額 （単位：千円）	補足説明
		指標名	指標の算出根拠	目標値		

■外部委員会の評価（※事務局記載）

--

27 年度戦略事業評価シート

事業名	子ども・子育て応援基金創設事業	担当課	【総務】			
KPI	平成31年度末までに基金積立額を1,000万円(町出資金500万円を原資に創設)毎年事業費として300万円	H27	H28	H29	H30	H31
		11,157				

A：拡充	今後内容を拡充して実施する必要がある
B：継続	当面の間、現状のまま継続して実施
C：見直し	事務事業の効率化等により見直す必要がある
D：終了	目的が達成されたこと等により終了する場合

■事業を構成する細事業

事業名	細事業の概要(内容)	成果指標(目標数値)		決算額 (単位：千円)	評価	評価の判断理由及び改善事項 (妥当性・有効性、効率性に基づき記載)
		指標名	実績値			
ふるさと応援寄附金事業	ふるさと納税募集チラシを道の駅や町内外のイベント等で配布し、寄附を呼びかけている。1万円以上の寄附をいただいた町外在住者に対しては、寄附金額に応じ、広報誌、観光パンフレット及び京丹波町で生産・加工されたふるさと産品を送付している。	寄附金額 (うち、子育て支援事業に充当したもの)	11,156,729	11,157	B	平成28年3月に京丹波町ふるさと応援寄附金条例を制定し、平成28年度第3子保育所・幼稚園無償化事業及び子育て備品整備事業に対して充当した。

■改善提案(翌年度からの新規及び改善事業)

事業名	細事業の概要(内容)	成果指標(目標数値)			予算額 (単位：千円)	補足説明
		指標名	指標の算出根拠	目標値		

■外部委員会の評価(※事務局記載)

--

27 年度戦略事業評価シート

事業名	学童保育事業の充実	担当課	【教育委員会】			
KPI	平成31年度までに、学童保育時間の延長、学童1組、2組の施設整備。	H27	H28	H29	H30	H31
		-				

A：拡充	今後内容を拡充して実施する必要がある
B：継続	当面の間、現状のまま継続して実施
C：見直し	事務事業の効率化等により見直す必要がある
D：終了	目的が達成されたこと等により終了する場合

■事業を構成する細事業

事業名	細事業の概要（内容）	成果指標（目標数値）		決算額 （単位：千円）	評価	評価の判断理由及び改善事項 （妥当性・有効性、効率性に基づき記載）
		指標名	実績値			
学童保育事業の充実	学童保育事業における環境整備の向上（保育時間の延長及び施設改修）	施設整備	-	-	B	引き続き、利用状況を把握、分析するとともに、受け入れ体制の整備を進める必要がある。他の町施設の有効活用も含めて、施設整備について検討を行う。

■改善提案（翌年度からの新規及び改善事業）

事業名	細事業の概要（内容）	成果指標（目標数値）			予算額 （単位：千円）	補足説明
		指標名	指標の算出根拠	目標値		

■外部委員会の評価（※事務局記載）

--

27 年度戦略事業評価シート

事業名	地域防災力向上事業	担当課	【総務】			
KPI	平成31年度末消防団員数850人の維持 ・平成31年度末自主防災組織10組織設置 ・平成37年度末非耐震集会所ゼロ	H27	H28	H29	H30	H31
		831				

A：拡充	今後内容を拡充して実施する必要がある
B：継続	当面の間、現状のまま継続して実施
C：見直し	事務事業の効率化等により見直す必要がある
D：終了	目的が達成されたこと等により終了する場合

■事業を構成する細事業

事業名	細事業の概要（内容）	成果指標（目標数値）		決算額 （単位：千円）	評価	評価の判断理由及び改善事項 （妥当性・有効性、効率性に基づき記載）
		指標名	実績値			
土砂災害想定住民避難訓練	土砂災害を想定した住民避難訓練を猪鼻区、水呑区を対象に実施。	訓練参加	184人	-	B	引き続き継続した訓練実施により、住民の災害対応力の向上を目指す。
デジタル防災行政無線整備事業	全町域を対象とした防災行政無線の整備。地域防災の中核たる消防団への配備。	通信インフラ整備	100%	264,213	B	平成27年度に整備事業は完了したので、今後は効果的な運用に向けて、訓練を行う。

■改善提案（翌年度からの新規及び改善事業）

事業名	細事業の概要（内容）	成果指標（目標数値）			予算額 （単位：千円）	補足説明
		指標名	指標の算出根拠	目標値		

■外部委員会の評価（※事務局記載）

--

27 年度戦略事業評価シート

事業名	地域公共交通ネットワーク形成	担当課		【企画政策課】		
KPI	平成31年度までに地域公共交通のネットワーク形成、循環バスの運行本数 3本/日	H27	H28	H29	H30	H31
		-				

A：拡充	今後内容を拡充して実施する必要がある
B：継続	当面の間、現状のまま継続して実施
C：見直し	事務事業の効率化等により見直す必要がある
D：終了	目的が達成されたこと等により終了する場合

■事業を構成する細事業

事業名	細事業の概要（内容）	成果指標（目標数値）		決算額 （単位：千円）	評価	評価の判断理由及び改善事項 （妥当性・有効性、効率性に基つき記載）
		指標名	実績値			
現行路線バス利用向上事業	時刻表の改正（全路線）、乗継割引制度の導入	乗継乗車券の利用数	106人	10,275	A	健康長寿社会への対応、地域交通として担う役割をふまえ、利用しやすい環境整備と新たな交通対策を実施することで、住みやすい生活環境の充実を図る。

■改善提案（翌年度からの新規及び改善事業）

事業名	細事業の概要（内容）	成果指標（目標数値）			予算額 （単位：千円）	補足説明
		指標名	指標の算出根拠	目標値		
地域公共交通基礎調査	新たな交通対策の検討のため、生活及び観光施策の両面から、地域公共交通ネットワーク化のための調査分析	-	-	-	4,200	地方創生加速化交付金充当

■外部委員会の評価（※事務局記載）

--

27 年度戦略事業評価シート

事業名	買物支援ネットワーク形成	担当課	【商工観光課・保健福祉課】			
KPI	平成31年度までに、買物バス利用者 年間500人を目指す。	H27	H28	H29	H30	H31
		-				

A：拡充	今後内容を拡充して実施する必要がある
B：継続	当面の間、現状のまま継続して実施
C：見直し	事務事業の効率化等により見直す必要がある
D：終了	目的が達成されたこと等により終了する場合

■事業を構成する細事業

事業名	細事業の概要（内容）	成果指標（目標数値）		決算額 （単位：千円）	評価	評価の判断理由及び改善事項 （妥当性・有効性、効率性に基づき記載）
		指標名	実績値			
買物支援バス運行事業	道の駅を拠点とした買物支援バスの運行	利用者	0	0	B	27年度については制度設計のみ。 平成28年度予算において事業費計上し、事業開始。

■改善提案（翌年度からの新規及び改善事業）

事業名	細事業の概要（内容）	成果指標（目標数値）			予算額 （単位：千円）	補足説明
		指標名	指標の算出根拠	目標値		

■外部委員会の評価（※事務局記載）

--

27年度戦略事業評価シート

事業名	医師等確保推進事業	担当課	【医療政策】			
KPI	平成31年度末時点でも現状と同じく常勤医師8人以上を確保する。その他医療スタッフ数も現状を確保する。	H27	H28	H29	H30	H31
		7人				

A：拡充	今後内容を拡充して実施する必要がある
B：継続	当面の間、現状のまま継続して実施
C：見直し	事務事業の効率化等により見直す必要がある
D：終了	目的が達成されたこと等により終了する場合

■事業を構成する細事業

事業名	細事業の概要（内容）	成果指標（目標数値）		27年度 当初予算額 （単位：千円）	評価	評価の判断理由及び改善事項 （妥当性・有効性、効率性に基づき記載）
		指標名	実績値			
常勤医師確保事業	京都府、京都府立医科大学、公立南丹病院等との連携強化により、常勤医師を確保し、町民の安心につなげる事業	確保医師数	7名 (病院3名 診療所1名 歯科診療所 2名 老健 1名)	110,185	B	常勤医師の確保は、地域医療の確保だけにとどまらず、地域包括ケアシステムの構築におけるまちづくり全体の中での安心につながる。
医師確保奨学金事業	大学生（院生）、臨床研修医などに対し、貸付を行い将来的な医師確保につなげる事業	奨学金 利用者数	0	0	B	将来の安定的な医療環境を整えることにつながる。

■改善提案（翌年度からの新規及び改善事業）

事業名	細事業の概要（内容）	成果指標（目標数値）			予算額 （単位：千円）	補足説明
		指標名	指標の算出根拠	目標値		

■外部委員会の評価（※事務局記載）

--

27 年度戦略事業評価シート

事業名	健診事業	担当課	【 保健福祉課 】			
KPI	健康寿命の延伸 5年後（平成31年度）に1歳上げる。 （京都府と同じ目標値、連携事業を実施する。）	H27	H28	H29	H30	H31
		-				

A：拡充	今後内容を拡充して実施する必要がある
B：継続	当面の間、現状のまま継続して実施
C：見直し	事務事業の効率化等により見直す必要がある
D：終了	目的が達成されたこと等により終了する場合

■事業を構成する細事業

事業名	細事業の概要（内容）	成果指標（目標数値）		決算額 （単位：千円）	評価	評価の判断理由及び改善事項 （妥当性・有効性、効率性に基づき記載）
		指標名	実績値			
ピロリ菌検査	40歳～74歳の過去に検査を受けていない方を対象に、集団検診において血液検査（ピロリ菌抗体検査）を実施	受診数	1482人	2,923	A	検査受診者のうち、505人が要精密検査と判定され、精密検査受診者のほとんどが除菌治療につながった。若い時期からの疾病予防を目的に年齢を拡大する。
歯科健診	対象年齢を20歳以上から19歳以上に引き下げて実施	受診数	297人	992	B	生涯にわたっての健全な歯の保持のため、若い時期からの歯科健診受診を推進するため継続していく。
歯の啓発事業 （歯のひろば）開催	京都府歯科医師会、衛生士会の協力を得て歯科健診、歯みがき指導、スモークライザー（タバコ啓発）等を日曜日午後実施	参加者数	267人	25	D	多くの参加者があり啓発の目標は達成できた。啓発継続のため5年に1回程度の割合で開催を検討する。

■改善提案（翌年度からの新規及び改善事業）

事業名	細事業の概要（内容）	成果指標（目標数値）			予算額 （単位：千円）	補足説明
		指標名	指標の算出根拠	目標値		
ピロリ菌検査	平成27年～開始したピロリ菌検査を同様に実施し、対象年齢を19歳～74歳とする。	受診数	平成27年度受診者を除くため、受診数は減少予定	500	1002	
歯科健診	平成27年度同様に対象年齢を19歳以上で実施し、新19歳、新40歳（年度末年齢）に対し健診受診を啓蒙する。	受診数	平成27年度受診数の維持	290	936	

■外部委員会の評価（※事務局記載）

--

27年度戦略事業評価シート

事業名	健康で長生きするぞ事業	担当課	【住民】			
KP I	ミリオンウォークの参加者5,000人達成（町人口の約3割）、5年後の本町の平均要介護期間を1年未満にする。（H26.12.22付け京都大学医学研究科 医療経済学分野発表の本町の平均要介護期間では、男性1.9年、女性4.0年）	H27	H28	H29	H30	H31
		-				

A：拡充	今後内容を拡充して実施する必要がある
B：継続	当面の間、現状のまま継続して実施
C：見直し	事務事業の効率化等により見直す必要がある
D：終了	目的が達成されたこと等により終了する場合

■事業を構成する細事業

事業名	細事業の概要（内容）	成果指標（目標数値）		決算額 （単位：千円）	評価	評価の判断理由及び改善事項 （妥当性・有効性、効率性に基つき記載）
		指標名	実績値			
特定健診・特定保健指導事業	40～74歳の国保加入者を対象する、メタボリックシンドロームに着目した生活習慣病予防のための特定健康診査及び保健指導を実施。	受診率の向上	51.20%	14,054	B	特定健診の受診率が伸び悩み、特に保健指導の受診率の向上が今後の課題である。

■改善提案（翌年度からの新規及び改善事業）

事業名	細事業の概要（内容）	成果指標（目標数値）			予算額 （単位：千円）	補足説明
		指標名	指標の算出根拠	目標値		

■外部委員会の評価（※事務局記載）

--

27年度戦略事業評価シート

事業名	地域包括ケアシステム構築推進事業 ※ご近所力の強化	担当課	【保健福祉課・瑞穂支所】			
KPI	町内全域で自主的な高齢者交流事業、介護予防事業に取り組む高齢者ふれあいいきいきサロンの数、脳トレ・筋トレの実施会場、冬場の健康相談実施箇所数の増加 3年間で全ての区等での開催を目指す。	H27 76区	H28	H29	H30	H31

A：拡充	今後内容を拡充して実施する必要がある
B：継続	当面の間、現状のまま継続して実施
C：見直し	事務事業の効率化等により見直す必要がある
D：終了	目的が達成されたこと等により終了する場合

■事業を構成する細事業

事業名	細事業の概要（内容）	成果指標（目標数値）		決算額 （単位：千円）	評価	評価の判断理由及び改善事項 （妥当性・有効性、効率性にに基づき記載）
		指標名	実績値			
地域介護予防活動支援事業	住民自身の手による地域の支えあい活動である小地域福祉活動を積極的に支援すること（社協委託） ◎年間6回以上開催…年額1万円 ◎毎月1回程度開催（年間10回以上）…20,000円	実施団体数	72団体 延904回開催 延べ16385人	1,826	C	各地区の有志（サロンリーダー）が主体的に、誰でも参加できるサロンを任意で開催することで、高齢者の共助、互助、閉じこもり予防、住民の居場所づくりに繋がる。ただ、助成の仕方に見直しが必要と思われる。（助成金の活用がノルマになる、保険に加入することを検討する等）
介護予防総合プログラム普及促進事業	介護予防に資する基本的な知識について、高齢者だけでなく、地域全体へ普及啓発が図れるように、地域で自主的に取り組むことを希望する地域に冬場の筋トレ脳トレ教室の開催ができるよう支援する	開催地区数	20地区 実数437人	1,832	A	体操の継続実施で参加者が効果を実感している。認知症学習会や調理実習の課題にも積極的に取り込まれ、地域の自主性も観られた。運営を地域に任せ、DVDを作成して機材ともに貸し出す支援により、期間を終えても継続される地域もある。リーダーが不在の地域については、振興会等と検討中である。あくまで地域の自主性を重んじる。
認知症ケア向上事業	認知症者が行方不明になったとしても、早期発見できるように関係機関、協力団体が協力してネットワークを構築し、当事者や家族等を支援する。	協力団体数	54団体	5	A	緊急時の連絡体制を取り決めたことにより、夜間、休日も迅速に協力団体に周知できる体制が整った。徘徊の可能性のある事前登録者は6名あったが、GPS機器の初期投資の希望者はなかった。（電波事情や管理の問題もある）
認知症サポーター養成事業	認知症を正しく理解し、基本的な対応を学び、認知症の人と家族を地域で支え合うことを啓発する 認知症サポーターキャラバン事業（「認知症サポーター養成講座」「認知症キャラバンメイト養成研修」）を今年度も地域の団体等の要請等に応じて実施	開催回数	7回	13	A	小学生とその保護者がともにサポーター養成講座を受講すると、非常に新鮮な気付きや発想が感じられ、親子双方にとっても効果的と思われる。平成27年度末には新しいキャラバンメイトの養成ができた。今後益々の展開をしていきたい。
地域創造拠点整備事業	定住相談員設置、朝市の開催	拠点施設数	1	10,075	B	定住相談員を次年度に設置し都市農村交流を移住につなげていく。朝市を通して生産者の生きがいにつなげていく。

■改善提案（翌年度からの新規及び改善事業）

事業名	細事業の概要（内容）	成果指標（目標数値）			予算額 （単位：千円）	補足説明
		指標名	指標の算出根拠	目標値		

■外部委員会の評価（※事務局記載）

--

27 年度戦略事業評価シート

事業名	畑川ダム周辺整備事業	担当課	【 土木建築 】			
KPI	京丹波町の交流人口を平成31年度に2,000千人に拡大する。	H27	H28	H29	H30	H31
		3,710				

A：拡充	今後内容を拡充して実施する必要がある
B：継続	当面の間、現状のまま継続して実施
C：見直し	事務事業の効率化等により見直す必要がある
D：終了	目的が達成されたこと等により終了する場合

■事業を構成する細事業

事業名	細事業の概要（内容）	成果指標（目標数値）		決算額 （単位：千円）	評価	評価の判断理由及び改善事項 （妥当性・有効性、効率性に基づき記載）
		指標名	実績値			
畑川ダム周辺整備	ダム対策協議会が立案したグラウンドゴルフ場を中心とした整備計画の実施	交流人口	3,710千人	2,615	C	平成23年度に基本構想を基に再生可能エネルギー施設を取り入れた農園、栗園の整備の可能性を併せて検討するもの。

■改善提案（翌年度からの新規及び改善事業）

事業名	細事業の概要（内容）	成果指標（目標数値）			予算額 （単位：千円）	補足説明
		指標名	指標の算出根拠	目標値		
畑川ダム周辺整備	平成26年度の地元意見交換時の意見を集約し、基本構想をもとに修正を行う	-	-	-	300	

■外部委員会の評価（※事務局記載）

--

27 年度戦略事業評価シート

事業名	丹波自然運動公園周辺整備事業	担当課	【 土木建築 】			
KPI	京丹波町の交流人口を平成31年度に2,000千人に拡大する。	H27	H28	H29	H30	H31
		3,710				

A：拡充	今後内容を拡充して実施する必要がある
B：継続	当面の間、現状のまま継続して実施
C：見直し	事務事業の効率化等により見直す必要がある
D：終了	目的が達成されたこと等により終了する場合

■事業を構成する細事業

事業名	細事業の概要（内容）	成果指標（目標数値）		決算額 （単位：千円）	評価	評価の判断理由及び改善事項 （妥当性・有効性、効率性に基づき記載）
		指標名	実績値			
丹波自然運動公園周辺整備事業	蒲生野中央線をメインストリートとしたまちづくり及びビジョndanマークの撤去と跡地活用による新たな交流拠点づくり	交流人口	3,710千人	-	B	町の防災機能、まちづくり機能及び行政サービス機能の充実を図ること目的とした整備に向け、基本構想を策定し事業実施をするもの。

■改善提案（翌年度からの新規及び改善事業）

事業名	細事業の概要（内容）	成果指標（目標数値）			予算額 （単位：千円）	補足説明
		指標名	指標の算出根拠	目標値		

■外部委員会の評価（※事務局記載）

--

27 年度戦略事業評価シート

事業名	「道の駅」地域拠点機能強化事業	担当課	【 商工観光 】			
K P I	京丹波町の交流人口を平成31年度に2,000千人に拡大する。 既存道の駅の入込み客数を縦貫道開通による一般道交通量減少（2割～3割減）に対し て、道の駅入込み客数を10%緩和する。（1割～2割減）	H27	H28	H29	H30	H31
		3,710				

A：拡充	今後内容を拡充して実施する必要がある
B：継続	当面の間、現状のまま継続して実施
C：見直し	事務事業の効率化等により見直す必要がある
D：終了	目的が達成されたこと等により終了する場合

■事業を構成する細事業

事業名	細事業の概要（内容）	成果指標（目標数値）		決算額 （単位：千円）	評価	評価の判断理由及び改善事項 （妥当性・有効性、効率性に基づき記載）
		指標名	実績値			
観光案内看板設置事業	道の駅「和」、「丹波マーケス」、「瑞穂の里・さらびき」への観光看板の設置	交流人口	3,710千人	977	B	道の駅に立ち寄る観光客に対するPR効果が高く、賑わいづくりや集客力の向上につながるため。併せて道の駅連携により、更なる交流人口増加につなげる。

■改善提案（翌年度からの新規及び改善事業）

事業名	細事業の概要（内容）	成果指標（目標数値）			予算額 （単位：千円）	補足説明
		指標名	指標の算出根拠	目標値		

■外部委員会の評価（※事務局記載）

--

27年度戦略事業評価シート

事業名	町道舗装維持修繕事業	担当課	【土木建築】			
KPI	平成30年度の定期点検までに28年度の結果において補修が必要となった1級及び2級町道において補修を完了させる	H27	H28	H29	H30	H31
		1路線				

A：拡充	今後内容を拡充して実施する必要がある
B：継続	当面の間、現状のまま継続して実施
C：見直し	事務事業の効率化等により見直す必要がある
D：終了	目的が達成されたこと等により終了する場合

■事業を構成する細事業

事業名	細事業の概要（内容）	成果指標（目標数値）		決算額 （単位：千円）	評価	評価の判断理由及び改善事項 （妥当性・有効性、効率性に基づき記載）
		指標名	実績値			
町道舗装維持修繕事業	舗装修繕計画に基づく修繕の実施	補修が必要な1、2級町道で補修を完了	1路線	24,694	B	引き続き修繕計画に基づき計画的な舗装修繕を実施するもの

■改善提案（翌年度からの新規及び改善事業）

事業名	細事業の概要（内容）	成果指標（目標数値）			予算額 （単位：千円）	補足説明
		指標名	指標の算出根拠	目標値		

■外部委員会の評価（※事務局記載）

--

27 年度戦略事業評価シート

事業名	橋梁維持修繕事業	担当課	【土木建築】			
KPI	平成31年度までに346橋全ての総点検を完了させる。	H27	H28	H29	H30	H31
		95				

A：拡充	今後内容を拡充して実施する必要がある
B：継続	当面の間、現状のまま継続して実施
C：見直し	事務事業の効率化等により見直す必要がある
D：終了	目的が達成されたこと等により終了する場合

■事業を構成する細事業

事業名	細事業の概要（内容）	成果指標（目標数値）		決算額 （単位：千円）	評価	評価の判断理由及び改善事項 （妥当性・有効性、効率性に基づき記載）
		指標名	実績値			
橋梁維持修繕事業	点検要領に基づく橋梁点検を実施し、安全で円滑な交通の確保、沿道や第三者への被害の防止を図るため等の橋梁に係る維持管理を適切に行う	点検橋梁数	95/346	20,894	B	引き続き修繕計画に基づき計画的な橋梁点検を実施し安全で円滑な交通の確保をするもの

■改善提案（翌年度からの新規及び改善事業）

事業名	細事業の概要（内容）	成果指標（目標数値）			予算額 （単位：千円）	補足説明
		指標名	指標の算出根拠	目標値		

■外部委員会の評価（※事務局記載）

--

27 年度戦略事業評価シート

事業名	公営住宅維持修繕事業	担当課	【土木建築】			
KPI	平成31年度までに修繕周期を経過している町営住宅の計画的な修繕を完了する。(24戸)	H27	H28	H29	H30	H31
		-				

A：拡充	今後内容を拡充して実施する必要がある
B：継続	当面の間、現状のまま継続して実施
C：見直し	事務事業の効率化等により見直す必要がある
D：終了	目的が達成されたこと等により終了する場合

■事業を構成する細事業

事業名	細事業の概要（内容）	成果指標（目標数値）		決算額 （単位：千円）	評価	評価の判断理由及び改善事項 （妥当性・有効性、効率性に基づき記載）
		指標名	実績値			
京丹波町公営住宅長寿命化計画	現在策定済みの「京丹波町公営住宅長寿命化計画」の内容を見直し、計画的な公営住宅の修繕管理を実施するもの。	-	-	-	B	平成28年度において国庫補助を受け業務委託にて、「京丹波町公営住宅長寿命化計画」の見直しを行う。

■改善提案（翌年度からの新規及び改善事業）

事業名	細事業の概要（内容）	成果指標（目標数値）			予算額 （単位：千円）	補足説明
		指標名	指標の算出根拠	目標値		

■外部委員会の評価（※事務局記載）

--

27 年度戦略事業評価シート

事業名	住宅改修補助事業	担当課	【土木建築】			
K P I	年間100件の利用者による町内商工業の活性化を図る。	H27	H28	H29	H30	H31
		91件				

A：拡充	今後内容を拡充して実施する必要がある
B：継続	当面の間、現状のまま継続して実施
C：見直し	事務事業の効率化等により見直す必要がある
D：終了	目的が達成されたこと等により終了する場合

■事業を構成する細事業

事業名	細事業の概要（内容）	成果指標（目標数値）		決算額 （単位：千円）	評価	評価の判断理由及び改善事項 （妥当性・有効性、効率性に基づき記載）
		指標名	実績値			
住宅改修補助事業	住宅改修を、本町に本社又は本店を有している事業者に依頼した場合、補助対象工事費の10%以内（最高10万円）を補助するもの。	住宅改修	91件	6,110	B	町要綱でH29.3.31までが事業期間であるため現状のままとするが、期間満了時点の補助金利用状況を勘案し、内容の拡大をする可能性がある。

■改善提案（翌年度からの新規及び改善事業）

事業名	細事業の概要（内容）	成果指標（目標数値）			予算額 （単位：千円）	補足説明
		指標名	指標の算出根拠	目標値		

■外部委員会の評価（※事務局記載）

--

27 年度戦略事業評価シート

事業名	「地域（ふるさと）再生事業」	担当課	【企画政策課・和知支所】			
KPI	農家民宿設置数を1件以上増設。	H27	H28	H29	H30	H31
		-				

A：拡充	今後内容を拡充して実施する必要がある
B：継続	当面の間、現状のまま継続して実施
C：見直し	事務事業の効率化等により見直す必要がある
D：終了	目的が達成されたこと等により終了する場合

■事業を構成する細事業

事業名	細事業の概要（内容）	成果指標（目標数値）		決算額 （単位：千円）	評価	評価の判断理由及び改善事項 （妥当性・有効性、効率性に基づき記載）
		指標名	実績値			
京都丹波高原国定公園指定	長老ヶ岳付近を含む国定公園の新規指定を受ける（H28.3.25）	農家民宿利用者（年）	105	-	B	国定公園内の施設整備としてバイオマストイレ等の整備を継続して行う。この整備を契機に地元産食材等のPRにより、リピーターを確保していく。
駅再生プロジェクト	和知駅関係団体との意見交換会の実施、駅の自主的運営、再生アンケートの実施	会議回数	2回	-	B	和知の駅を守る会、駅前活性化委員会、本庄区、京都府、京都大学など、関係者が和知地域の活性化に向けての協議を行うことで、実施に向けた具体策が検討できる。
		切符販売者数	22,732人	-	B	駅利用者の推移を把握することにより、観光客等の推移を分析することで、具体的な対策検討の参考となる。
		回答率	55.20%	-	D	駅周辺住民及び利用者対象和知駅の利用に関するアンケートを実施。（本庄区及び利用者594人対象）

■改善提案（翌年度からの新規及び改善事業）

事業名	細事業の概要（内容）	成果指標（目標数値）			予算額 （単位：千円）	補足説明
		指標名	指標の算出根拠	目標値		

■外部委員会の評価（※事務局記載）

--